

■（１４１）ストーカー事件の検証記事、警察批判が並ぶが……

女優を目指す東京都内の高校３年生が、元交際相手の京都の男に刺殺された。つきまとわれて怖いと警察に相談した当日の殺人事件だった。警察はどうして少女を守れなかったのか。新聞・テレビの記者は現場や警察署の取材に動き出している。

新聞各紙は検証記事を載せ始めた。中心は警察の対応で、相談をどの程度深刻に受け止めていたか、男への警告のやり方は十分だったのか……などだ。記事はどうしても警察に厳しい内容が並ぶ。

男女間のトラブルにはかつて、社会的な関心は示されなかった。凶悪事件に発展する例が増えたため、２０００年に規制法律ができた。自分が警察を取材していたころだった。それから１３年経ったが、命を奪われる例は絶えない。１年前にも神奈川県で女性が殺害されたばかりだ。検証記事の取材・執筆は、今回も、何とか犠牲者を出さないため、みんな考える材料を示したいとの思いからで、警察たたきが目的ではない。

中学時代、全校集会で髪の長さや靴下の色を厳しくチェックされた。嫌われても生徒の将来のために校則違反をしかる。先生の思いは、「検証」と同じだったと信じよう。（山）